

井上明夫新聞 ～日田市議会だより～

木々が芽を吹き、さわやかな季節になりました。

早いもので私の議員としての活動も、この4月でまる7年となりました。

また、22年度は日田市郡の合併5周年・日田市市制70周年の年となります。

私としては、真の「一体感の醸成」の確立に向けて、これからも市民の皆さんの声に耳を傾けて頑張ります！！



日田市初の「小中一貫校」めざしてスタート!!

「大明地区教育環境整備に関する確認書の調印式」が去る3月29日に、日田市役所で開催され、要約すると以下の内容で確認書がかわされました。

- * 静修小学校と夜明小学校を統合し、平成23年4月1日に現夜明小学校の位置で新小学校を開校する。
- * 新小学校と大明中学校において、施設一体型の小中一貫教育制を導入し、平成25年4月1日に現大明中学校の位置に開校する。
- * 静修小学校と夜明小学校の跡地の活用については、住民福祉の向上及び地域の振興を図るため、地元要望に対しては最大限努力する。

大鶴地区の皆さんにとっては「静修小学校の校舎を使うのは22年度までで、その後2年間は現在の夜明小学校の場所に通うこと」、夜明地区の皆さんにとっては「24年度までで夜明地区から小学校がなくなること」（大明中学校は大鶴地区に立地している）を受け入れるのは大きな決断となりました。しかし、大鶴地区にとっては「静修小学校の耐震診断の結果が非常に悪い」、夜明地区にとっては「夜明小学校の複式学級を一日も早く解消したい」という事情があり、両方の地区の子供たちを思う気持ちが尊重され、今回の結論になりました。

調印後には佐藤市長から、「日田市初の小中一貫校として全国のモデルになるような学校にしたい」という言葉がありました。

大鶴地区と夜明地区の皆さんにとっては、学校統合にむけてまだまだこれから考えなければならないことも多く、これからの3年間は特別な期間になるかと思えます。

将来の日田市の子供たちのためにも、「日田市の小中一貫校」の素晴らしいモデルができることを祈ります！！

